

第19回建設ロボットシンポジウム

《開催要項》

～ 論文募集のご案内 ～

激化する自然災害への対応、年々劣化が深刻化するインフラや建築物のメンテナンス、都市の再開発事業など、建設の役割は年を経る毎に高まりつつあります。一方で人口減少社会における生産年齢人口の急激な減少から担い手確保が深刻化する中、建設工事では省人化や効率化による大幅な生産性向上が求められています。このような状況を背景に、建設ロボット研究連絡協議会では、毎年、建築、土木、ロボットの各分野で建設ロボットの開発と普及に関わる研究者や実務者が分野を横断して、その活性化に向けて交流することを目指してシンポジウムを開催しています。

2019年度開催の第19回シンポジウムでは、近年、実用的な建設ロボットが増えてきたことを受けて、メインテーマを「実証から実用へ、建設ロボットの新たなステージ」とし、建設ロボットの実用化に向けて研究と普及に向けた取り組みを加速すべく、様々な視点からの研究発表を募集することにしました。

また、今回は、2020年10月に国際建設ロボットシンポジウムが14年ぶりに日本で開催されることに鑑み、その会場予定地の北九州国際会議場で国内シンポジウムを開催することにしました。

多くの皆様の積極的な御参加をお待ちしています。

テーマ： 実証から実用へ、建設ロボットの新たなステージ(仮)

開催日： 2019年10月9日(水)～10月11日(金)

会場： 北九州国際会議場(福岡県北九州市小倉北区)

■「主催」 建設ロボット研究連絡協議会

■「共催」 北九州市(申請中)、九州工業大学(申請中)一般財団法人先端建設技術センター、公益社団法人土木学会、一般社団法人日本建設機械施工協会、一般社団法人日本建築学会、一般社団法人日本ロボット学会、一般社団法人日本ロボット工業会 (五十音順)

■「協賛」 公益財団法人北九州観光コンベンション協会、公益社団法人計測自動制御学会、一般財団法人砂防・地すべり技術センター、次世代無人化施工技術研究組合、公益社団法人地盤工学会、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、公益社団法人精密工学会、一般社団法人電気学会、一般社団法人日本機械学会、一般社団法人日本建設業連合会、公益社団法人日本測量協会、建設無人化施工協会 (五十音順)

■「後援」 国土交通省九州地方整備局(申請中)

■発表形式

発表形式は、口頭発表とポスター発表の2形式とします。口頭発表は、15分の発表と5分の質疑

応答（発表件数により変更になることもあります）で、ポスター発表は2分程度のショートプレゼンテーションの後、ポスターで発表していただきます。

口頭発表では、A4サイズ原稿 6ページから8ページの本論文を投稿いただき、論文の査読を経て採否を決定します。なお、不採択の場合はご希望によりポスター発表を頂くことも可能です。

ポスター発表では、A4サイズ原稿2ページ以上（6ページは超えない）の本論文をご投稿いただきます。査読はありませんが発表の可否につきましてはプログラム委員会で判断をいたします。

■募集テーマ

論文の応募に際しては、以下の各セッションの内容や項目をご参考下さい。セッション内のそれぞれの項目については代表的と思われるものについて列挙しています。ここに記載の無いその他の建設ロボットとそれに関連するテーマも歓迎します。

- (1) 建設生産についての将来展望
- (2) 建設生産技術の高度化・高信頼化
- (3) アプリケーションと新領域
- (4) 点検・維持管理
- (5) ロボット・テクノロジー

■応募要領、スケジュール

(1) 口頭発表原稿のスケジュール

- ・申し込み締切：~~4月5日（金）~~ 4月19日（金）に延長されました
- ・発表原稿の締切：5月7日（火）
- ・発表原稿の採否：6月下旬
- ・発表原稿の最終提出：6月28日（金）
- ・口頭発表：10月9日（水）、10日（木）

(2) ポスター原稿のスケジュール

- ・申し込み締切：6月28日（金）
- ・発表原稿の締切：6月28日（金）
- ・ポスター発表：10月9日（水）、10日（木）

■参加登録料

- (1) 一般：20,000円（資料代、講演1件の発表を含む。ただし2019年9月20日（金）までに登録をしていただきます。期日後は25,000円。）
- (2) 学生：聴講は無料

※詳細は下記のホームページで公開しております。

問合せ先・送付先

第19回建設ロボットシンポジウム事務局

E-mail：scr19-sec@ccrr.jp

URL：<http://www.ccrr.jp/>